

「モビリティ・マネジメント教育」研究計画

八戸市立旭ヶ丘小学校

5 学年 担任 市村 徳子

◇单元名「もっと調べてみよう【教科発展型】」(社会)

◇单元目標 ・調べたいことを見つけて探求しよう。

	(1)	(2)	(3)
目 標	地域の人、もの、ことにかかわる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につけるとともに、地域の特徴やよさが分かり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解する。	地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理・分析して、まとめ・表現する力を身につける。	地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を養う。

◇評価規準

目標を実現するにふさわしい探究課題	探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力		
	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
バス の利用 について ( 情報 を生 かす 運 輸 業 )	<p>①八戸市には、いくつかの路線バスがあることを知り、利用者のために時刻や路線など調べやすいように工夫されていることを理解する。</p> <p>②行き先や料金など、目的や対象に応じた調査方法を選び、調べることができる。</p> <p>③路線バス利用に対する自らの意識の高まりは、探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。</p>	<p>①路線バスの利用者の様子や、実体験から感じたことをもとに課題をつくり、解決の見通しをもつことができる。</p> <p>②課題の解決に必要な情報を、手段を選択して決めたり、複数の情報を比較したり関係づけたりしながら解決に向けて考えている。</p> <p>③伝える相手や目的に応じて、自分の考えや調べたことをまとめ、適切な方法で表現している。</p>	<p>①バス利用について関心を持ち、自分の生活を見直したり、他者の考えを認めたりしながら、自らの意志で課題を解決しようとしている。</p> <p>②地域を支えるバス利用について、これから自分ができることを考えて取り組んでいる。</p>

◇指導計画

小単元名（時数）	学習活動
<p>1 自分たちで行けるところはどこだろう。（2）</p>	<p>課題把握</p> <p>○高学年になり、子どもだけで公共施設に行くことができる！</p> <p>→でも、どうやって行けばよいのか分からない。どのような方法があり、どんなことができるようになったら、行けるかな。行けるようになりたい！</p> <p>→バス利用に関心をもつ。</p> <p>○路線バスってどんな人が何のために使っているのだろう。</p> <p>→アンケート結果</p> <p>課題設定</p> <p>○バスを利用するには、どんなことができるようになったらよいのか、調べたいことは？</p> <p>→・バスの行き先って？</p> <p>・どこの停留所？</p> <p>・何時のバスがあるの？</p> <p>・金額は？</p> <p>・お得なパスポートとか回数券とかってあるの？</p> <p>→どうやって調べればよいか調べてみよう。</p>
<p>2 バスの使い方について調べてみよう。（3）</p>	<p>自力解決・集団解決</p> <p>○バスの行き方を調べてみよう。（本時）</p> <p>○料金や時刻表を調べてみよう。</p> <p>○お得なシステムってあるのか調べてみよう。</p> <p>→これなら自分たちでもバスを利用して行けそうだ。</p> <p>→でもなぜいろいろな調べるツールがあるのだろう。</p> <p>→バスを利用する人が困らないため。</p> <p>※ここで調べた情報をもとに3学期教材「情報を生かす運輸業」で学習を深める。</p>
<p>3 バスの利用について考えよう。（3）</p>	<p>○子どもたちだけで公共施設に出かけることのほかに、バスを利用できそうな機会はないかな。</p> <p>→・三社大祭</p> <p>・お出かけ</p> <p>・高校生になったら通学</p> <p>・仕事に向かうとき</p> <p>→バスは必要な交通手段の一つ</p> <p>○調べて分かったこと、考えたことをまとめよう。</p>

(1) 本時の目標 (3/8)

八戸市内を走っている路線バスの行き方を調査する活動を二つの方法で行うことを通して、各ツールの便利さについて考え、それぞれのよさに気付くことができる。

(2) 展開

学習活動	教師の支援	☆評価 ○留意点
<p>1 前時までの振り返りをする。</p> <p>○調べたいことの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスでどこ行きに乗ればよいか。</li> <li>・料金はどうやったら調べられるか。</li> <li>・お得なパスポートはないか。</li> <li>・時刻はどうやって調べるのか。</li> </ul> <p>2 調査方法がどんなものがあるのか確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット</li> <li>・バスマップ</li> </ul> <p>3 めあての確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べる目的を確認する。</li> <li>・本時では行き方(どのバス停から何行きに乗ってどのバス停で降りるのか)を調べる方法を調査することを確認する。</li> <li>・バスマップも調べる方法の一つであることを知らせ、使い方動画を使用して使い方を教える。</li> <li>・路線バス会社の確認をする。</li> </ul>	<p>○バスマップは子どもたちから出てこないことが予想されるため、こちらで提示する。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                 目的地への行き方を調べるにはどちらが便利だろう。             </div>		
<p>4 調べる。</p> <p>(1) 教師と一緒に調べる。</p> <p>①児童科学館に行きたい。</p> <p>(2) 各自で調べる。</p> <p>②おばあちゃんが市民病院まで通院したい。</p> <p>③YSアリーナにスケートを滑りに行きたい。</p> <p>④市村先生が旅行に行くために八戸駅まで行きたい。</p> <p>⑤お兄ちゃんが工業高校に通学する。</p> <p>⑥自分で行き先を決めて調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①はみんなで一緒に調べてみる。</li> <li>・いくつか場面設定を提示して、進めることのできる児童はどんどん調べてもよいことを伝える。</li> <li>・一人で調べることが不安な子どもは友達とペアになって調べる。</li> <li>・③まで調べられるように伝え、時間がかかっているところにはサポートに入る。</li> </ul>	<p>○場面設定をすることで行き先を決めることに困らないようにする。</p> <p>○課題にバス停の場所が不明確だったり、乗り継ぎをしたりしなければいけない状況を作り、それぞれのよさに気付きやすくする。</p> <p>☆二つの方法で調べることができる。(知識・技能)</p>
<p>5 どちらが便利だったのか発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットの方が停留所をクリックすると、どこ行きに乗ればよいか分かりやすい。</li> <li>・インターネットは時刻もわかる。</li> <li>・バスマップは、停留所を探しやすかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの方法のよさを板書でまとめ視覚化し、それぞれのよさをとらえやすくする。</li> <li>・利用する人の立場によって便利なツールが異なることに気付かせたい。</li> <li>・どちらの方法もバスを使用する人たちのために作られていることに気付かせる。</li> <li>・便利さだけでなく、バス会社はなぜインターネットやバスマップを作って、便利になる工夫をしているのか考えさせたい。</li> </ul>	<p>☆二つの方法を比較し、それぞれの便利さについて考え、その良さに気付くことができる。(思考力・判断力・表現力)</p>
<p>6 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気が付いたこと</li> <li>・もっと調べてみたいこと</li> <li>・疑問に思ったこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分だったらどちらが便利だと感じているのか、めあてに対する自分なりの答えを書かせるようにする。</li> </ul>	